

105. 熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査

研究の概要

暑熱環境による熱中症に関して、夏季になると多数報道されますが、本邦における熱中症、特に重症の場合の実態は、十分に解明されていないのが現状です。本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行います。

研究の目的と方法

2020年7月1日から2020年9月30日までに国立病院機構熊本医療センターにおいて、熱中症と診断された全ての患者さんが対象となります。なお、外来診療のみで帰宅となった患者さんは除外します。診療録の中において、年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見(身体所見・検査所見など)、発生原因、治療法および転帰に関する情報を匿名化して、日本救急医学会熱中症に関する委員会にWeb登録とFAX送信を行います。その後、日本救急医学会熱中症に関する委員会において集計・解析を行い、発生予防を含め対策について検討を行います。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者(患者さん)の個人情報(氏名、住所、電話番号、カルテ番号など)は記載しませんので、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：2020年7月1日～2021年3月31日(調査対象期間：2020年7月～2020年9月)

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、発生予防を含めた対策について検討を行います。その成果は学会や論文、熱中症診療ガイドラインの作成などを通

して発表されます。

研究代表者

帝京大学医学部附属病院 救急医学講座 神田潤

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命執急・集中治療部 原田正公

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部 北田真己

TEL 096-353-6501